

イ 題材の指導計画と評価規準（全 2 時間）

過程	学習活動	教師の指導・支援	学習活動に即した評価規準【評価方法】
1 時目 （日本美術との出会い）	<p>1 日本の伝統的な美術作品と出会う。</p> <p>2 鑑賞資料の折り曲げを行い、平面の時との違いを体験する。</p> <p>3 「檜図屏風」の部分図から、何が描かれているかを読み取る。</p>	<p>○日本の伝統的な美術作品について、その特徴や美しさを感じ取らせるために、「唐獅子図屏風」を平面の作品として取り上げる。</p> <p>○鑑賞資料を使い、屏風絵本来の折り曲げ方を体験させ、平面の時との違いを比べることができるようにする。</p> <p>○実際の大きさを感じ取らせるために「檜図屏風」の拡大図を用意する。</p>	<p>関① 屏風絵の形、色彩や用途などの特徴や印象、本質的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などに関心を持ち、主体的に感じ取ろうとしている。</p> <p>【活動の様子、発言内容】</p> <p>鑑① 屏風絵の特質を捉え、形、色彩などの特徴や印象などから全体の感じから、本質的なよさや美しさ、を感じ取り、自分の価値意識を持って味わっている。 （第 1 時、第 2 時を通して評価する。）</p>
2 時目 （本時）	<p>1 「檜図屏風」と「松林図屏風」を比較し、形や色彩について違いを鑑賞する。</p> <p>2 グループで対話活動をし、感じたことについて根拠を発表する。</p> <p>3 どのような時代に描かれた作品であるかを全体の印象から考える。</p>	<p>○「檜図屏風」と「松林図屏風」を比較して、形や色彩について理解させるために、電子黒板に作品を提示して確認する。</p> <p>○対話活動では、根拠を明確にし、的確に理解し、広い視点から感じ取らせるために、自分の言葉で表現するように促す。</p> <p>○「松林図屏風」の表現の工夫についての見方や感じ方を深めさせるために、生徒が感じたことの根拠を求める発問をする。</p> <p>○日本美術の歴史的・概括的な捉え方をさせ、作品の全体の印象から考えることができるようにする。</p> <p>○日本美術の歴史的・概括的な捉え方から鑑賞の深まりを感じさせる。</p>	<p>鑑② 2 つの作品を比較しながら、屏風絵の特質を捉え、日本の美術や伝統と文化のよさなどを味わい理解している。</p> <p>【活動の様子、発言内容・ワークシート】</p> <p>関② 日本の伝統的な美術作品である屏風絵の特徴や表現方法について関心を持ち、主体的に日本の美術や伝統と文化などを理解しようとしている。</p> <p>【活動の様子、発言内容・ワークシート】</p>

ウ 表 1 は題材において行った主な発問の一覧です。(エ)～(カ)の発問は、VTSの考え方を基にした発問です。

VTSの考え方を基にした発問をする前に、3つの発問(ア)～(ウ)を加えました。そのことによって、生徒が鑑賞活動で感じたことを他者との対話を通して交流し、多様な造形的な視点があることを知るきっかけづくりができます。1時目(日本美術との出会い)に行いました。

表 1 題材において行った主な発問の一覧

<p>(ア) この作品には、何が描かれていますか</p> <p>(イ) この作品は、何時頃を描いていますか</p> <p>(ウ) この作品は、どのくらい大きいですか</p> <p>(エ) どのようなことが起きていますか</p> <p>(オ) なぜそう考えましたか</p> <p>(カ) 新しい発見はありますか</p>	<p>} VTSの考え方を 基にした発問</p>
--	------------------------------



エ 本時（2 / 2 時目）の展開 ※作品A「檜図屏風」(狩野永徳) 作品B「松林図屏風」(長谷川等伯)

過程	学習活動（生徒の発言… □）	教師の指導・支援（○）（VTSの考えを基にした発問… □）	評価 規準
導入 （作品との 出会い）	<p>全体</p> <p>1 前時の屏風絵の見方を振り返り、日本の美術について学級の感想を知る。</p> <p>2 作品Bを見て、本時の内容に関連して教師とやり取りを行い、めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">めあて 「作品から感じたことを、自分の言葉で表現しよう。」</div>	<p>○生徒が、作品の色や大きさを実感することができるように、電子黒板で提示した。</p> <p>○生徒が作品Bから感じたことを聞き出しながら、本時のめあてにつなげた。</p>	
展開 （見比べる）	<p>個</p> <p>3 作品Bと作品Aを比較し、形や色彩から気付いたことについて比較し、第一印象を書き留める。</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ Aは豪華、Bは地味。 ・ Aは力強い。Bはやせて細い。 ・ Aは線が太く、力強い。 ・ Bは線が細く弱々しい。 </div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 屏風絵はこんな風に見えるんだ。 本物！？ </div> <p>4 自分が感じたことの根拠を絵の中から考え、ワークシートに記入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 力強い檜、金箔から、豪華だと感じた。 ・ やせて細い松や墨の色から、地味だと感じた。 </div>	<p>○作品Bを作品Aと比較させ、気付いたことや疑問を持つことができるように、形や色彩に注目させるようにした。</p> <p>○2つの作品に描かれている木の違いが分かるように、電子黒板で拡大して表示した。</p> <p>○見方や感じ方の大切さを理解することができるように、季節や時間の捉え方には個人差があることを助言した。</p> <p>○作品Bが描かれている場面を考えることができるように、発問①を行った。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 発問①「この作品Bの中でどのようなことが起きていますか」 </div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ Bは風が吹いているみたい。動いているみたい。 ・ Bは霧がかかっている。朝、早いみたい。 </div>	<p>鑑① （前時から引き続き評価）</p>
	<p>5 なぜ、そう見えるのか、なぜそう感じるのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 屏風絵本来の折り曲げ方を体験し、平面の時との違いを見比べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 描かれている物の形や描かれている物の色彩に注目させるようにした。 ・ 霧や空間から考えさせるようにした。（根拠を考えながら作品を見る） ・ 立体的なイメージを持つことができるように作品を折り曲げて鑑賞する。 	

展開 (根拠を考える)	G	<p>6 グループで話し合う。(対話活動)</p> <p>リーダーが中心になって、作品Bについて、それぞれの意見を交換する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; border-radius: 10px;">どこに? あ!ここだ!</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; border-radius: 10px;">山が見えるよ!</div> </div> 	発問②「なぜ、そう考えましたか」 ○リーダーに以下のことをグループの話合いで質問するように伝えた。 <ul style="list-style-type: none"> ・作品の中で起きていること ・作品の印象 ・感じ方の根拠 	関②
	全体	<p>7 グループの意見をリーダーが発表する。</p> <p>8 グループの話合いから、新しい考えがないか振り返る。</p>	○全体で、グループの意見を共有することができるように、グループのリーダーに発表させた。	
まとめ (振り返る)	個	<p>9 本時の振り返りをワークシートに記入する。</p> <p>10 自分の感じ方がどのように変わったのかを振り返って書く。</p>	○2つの作品を比較しながら捉えた屏風絵の特質を踏まえて、当時の人々にとって、屏風絵がどのような存在(価値)を持っていたのかを考えさせた。 ○自分自身の感じ方がどのように変わったのかを振り返ることができるように前時までのワークシートと比べて読むように伝えた。	鑑②

(5) 授業実践における手立ての有効性についての考察

ア 生徒のワークシートの記述の変容から

授業実践における手立ての有効性を見取るために、生徒のワークシートの記述を分析しました。表3は、表2を基に評価した結果を示したものです。

表2 ワークシートの記述の判断基準

	判断する目安	記述例
A	形や色彩などの性質を感じ取り、感情の記述をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・シンプルの中に奥行きがあり、引き込まれる。 ・静かな音のない寂しい風景。
B	形や色彩などからの性質のみを記述している。	<ul style="list-style-type: none"> ・木が細い。・色が無い。

表3 ワークシートの記述の変容

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
第一印象	色	色	霧	欠	色	色	木	地味	色	木	シンプル	色	木	色	シンプル	色	色	霧
評価	B	B	B		B	B	B	A	B	B	A							
まとめ	霧	中国の木	霧がかかる朝の風景	欠	霧雨の降る森	霧の中の山	霧の中の木	早朝	朝の霧	雨が降った後の風景	中国の木	朝早くの山	雨上がりの木	山の中	木	霧の中の木	豪雨翌日の早朝	霧がかかった木
よさに気付く(感想)		○		欠				○		○	○					○		○
評価	B	A	B		B	B	B	A	B	A	A	B	B	B	B	A	B	A

抽出生徒 A

	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
第一印象	色	木	霧	色	霧	色	色	霧	色	木	寂しい	色	霧	欠	木	木	木
評価	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B		B	B	B
まとめ	霧の中の木	山の中の朝	山の朝の風景	霧がかかった朝の山	きりのかかった朝	霧が降る朝	林	霧の中にある木	小さな林	霧の中の	中国の木	霧のかかった木	霧に包まれた山	欠	山に消える木	山の奥の木	朝の霧
よさに気付く(感想)		○	○								○			欠	○	○	
評価	B	A	A	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B		A	A	B

抽出生徒 B

第一印象の段階では、形や色彩からの性質を感じ取り、感情の記述をしている生徒（評価A）は12%（4人）でした。対話活動を通して自分の見方や感じ方の根拠を考えた後では、32%（11人）の生徒が作品のよさに気づき、感情の記述が見られました。12%の生徒（評価A）は、2つの作品を比較し電子黒板等で細部を掲示する手立てで、形や色彩などの性質を感じ取り感情豊かな第一印象を持ちました。つまり、一部の生徒にとっては、2つの作品を比較したことで、それらの作品の違いを明確に感じ取ることができており、それぞれの作品のよさを見て考えるための有効な手立てだったことが分かります。また、対話活動を取り入れた後に（評価A）の生徒が32%（11人）へと増えていることから、作品Bを作品Aと比較させ、気づきや疑問を持つことができるように、[共通事項]に着目させるようにしたことで、生徒は形や色彩に着目して作品を見ており、グループ内の対話活動でのやり取りやワークシートの記述から[共通事項]が生かされていたことが分かりました。2つの作品を比較鑑賞するために[共通事項]の視点が、作品のよさを分かりやすく際立たせることに効果的だったと考えます。

イ 抽出生徒の気づきや考えの変容から

(ア) グループ内の対話活動から

対話活動は、4人グループで行いました。リーダーが「なぜ、そう考えましたか」と問い掛けながら、対話活動を進めていきました。その中の一つのグループを抽出し、生徒A、生徒Bに注目しました。資料2は、このグループ内の発言の記録です。

※ なぜ ⇒ グループ内の他の生徒からの問い掛けに対する返答を示しています。

○生徒C：霧が掛かっているように感じた。



なぜ ⇒ 白い何もないところから。

なぜ ⇒ 白い所に木があるのに、見えなくなっているように感じたから。

○生徒D：遠くと近くがはっきりしている。



なぜ ⇒ 遠くの木がぼんやり描いてあるから。 なぜ ⇒ 雲が掛かってきている。

なぜ ⇒ 雨がたくさん降って木の枝が垂れ下がっている。

なぜ ⇒ 悲しい気持ちになった。水墨画（中国）みたいな絵みたいだ。

○生徒B：木が一本だけ傾いている。寂しい。



なぜ ⇒ 遠くと近くの木がはっきり分かる。

なぜ ⇒ 雪山の木のように見える

なぜ ⇒ 折り目を付けたときに奥行きがだんだんと増す。

なぜ ⇒ 傾いた木が山の奥に導いているようだ。

なぜ ⇒ Dさんのように悲しい気持ちになる。細い葉の一枚一枚が、雪が降っているように見える。

○生徒A：霧の中みたい。



なぜ ⇒ 雨が降っている（うすく白く見えるから）。

なぜ ⇒ 中国っぽい（木々が細いから）。

なぜ ⇒ 水墨画みたいな絵。静かな感じがして、落ち着く。